



ZONTA
CLUB OF
SENDAI
MEMBER OF ZONTA INTERNATIONAL
EMPOWERING WOMEN
THROUGH SERVICE & ADVOCACY

仙台Iゾンタクラブ創立50周年記念チャリティコンサート

今井信子「冬の旅」

| ヴィオラ：今井信子 | ピアノ：伊藤 恵 | 語り：長久保明美

プログラム

シューベルト：「冬の旅」作品89 D.911 (1827年作曲)

第1曲「おやすみ」第2曲「風見鶏」第3曲「凍った涙」第4曲「凍てつく野」第5曲「菩提樹」第6曲「あふれ流れる水」
第7曲「河の上で」第8曲「振り返り」第9曲「鬼火」第10曲「休み」第11曲「春の夢」第12曲「孤独」第13曲「郵便馬車」
第14曲「白髪」第15曲「カラス」第16曲「最後の希み」第17曲「村で」第18曲「嵐の朝」第19曲「惑わし」
第20曲「道しるべ」第21曲「宿屋」第22曲「勇気」第23曲「幻の太陽」第24曲「辻音楽師」

テキスト：ヴィルヘルム・ミュラー／訳：梅津時比古

2016 11.9 (水) 18:30開演(開場18:00) 東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

TEL. 022-795-3391 地下鉄東西線「国際センター」駅下車 徒歩約5分、「川内」駅下車 徒歩約7分。仙台駅からタクシーで約10分。

チケット：¥5,000(全席自由) ※未就学児童のご入場はご遠慮ください。 ※都合により曲目、出演者などを変更させていただく場合がございます。なにとぞご了承ください。

プレイガイド ◎藤崎/仙台三越/仙台・杜の響きコンサートホームページ/チケットぴあ0570-02-9999(Pコード:307-727)

主催・問合せ：仙台Iゾンタクラブ 後援：公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団、河北新報社、TBC東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、KHB東日本放送

Nobuko Imai Die Winterreise

仙台Iゾンタクラブの創立50周年おめでとうございます。この機会に、久しぶりに仙台で演奏させていただくことができない大変光栄に思います。今回のプログラムには、私の長年の夢でした、シューベルトの歌曲集「冬の旅」を取り上げたいと思います。シューベルトの歌曲集「冬の旅」は、若い頃からゲルハルト・ヒュッシュやフィッシャー＝ディースカウの歌を何度も聴いて、その豊かな表現力に魅かれてゆきました。どんな音楽でも、中核には必ず「歌」があります。ヴィオラは人の声が一番近いといわれます。ヴィオラは言葉を語れませんが、シューベルトが紡いだ旋律を奏でることだけでも大きな意味を持つと思います。ただ、歌曲が持つ物語性は、やはりしっかりと伝えたいと思い、「語り」を入れたコンサートを企画しました。共演は、私が最も信頼するピアニストである、伊藤恵さん。これまで何度か共演を重ねてきました。歌の背景に広がる自然や心象風景を、一緒に描いていきたいと思います。詩の朗読には、仙台で朗読や音訳の活動をされている長久保明美さんを初めてお迎えします。ヴィオラとピアノと語りで綴るシューベルトの「冬の旅」を仙台の皆さまにお届けできるのをとても楽しみにしております。 今井 信子

Nobuko Imai Die Winterreise
MODIKO IYUJI TIG MATUICITIGTIC

今井 信子 (いまい・のぶこ) ヴィオラ



©Marco Borggreve

桐朋学園大学卒業、イェール大学大学院、ジュリアード音楽院を経て、1967年ミュンヘン、68年ジュネーヴ両国際コンクール最高位入賞。70年西ドイツ音楽功労賞受賞。ベルリン・フィル、ロンドン響、バリ管等世界の主要オーケストラと共演。武満徹くア・ストリング・アラウンド・オータム>など数々のヴィオラのための作品を初演、献呈された作品も多い。クレーメル、マイスキー、ヨーヨー・マ、五嶋みどり等と共演。日本ではヴィオラスペースの企画・演奏に携わるほか、東京、ロンドン、ニューヨークでの「ヒンデミット・ヴィオラ・フェスティバル」音楽監督、日蘭交流400周年記念プロジェクトのプロデュースなどを行い、ヴィオラ界をリードする存在として活躍している。またミケランジェロ弦楽四重奏団のメンバーとしても世界中から招かれている。録音はフィリップス、BIS、グラモフォン等から40タイトルを超えるCDをリリース。エイボン女性芸術賞、文化庁芸術選奨文部大臣賞、京都音楽賞、モービル音楽賞、毎日芸術賞、サントリー音楽賞を受賞したほか紫綬褒章、旭日小綬章を受章。

現在、アムステルダム音楽院(オランダ)、クロンベルク・アカデミー(ドイツ)、ソフィア王妃高等音楽院(スペイン)の各教授。上野学園大学特任教授。北京中央音楽院客員教授。あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール音楽アドバイザー。

伊藤 恵 (いとう・けい) ピアノ



©Akira Muto

桐朋学園高校を卒業後、ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学、ハノーファー音楽大学において名教師ハンス・ライグラーに師事。エビナール国際コンクール、J.S.バッハ国際音楽コンクール、ロン＝ティボー国際音楽コンクールと数々のコンクールに入賞。1983年第32回ミュンヘン国際音楽コンクールピアノ部門で日本人として初の優勝。サヴァリッシュ指揮バイエルン国立管と共演し、ミュンヘンでデビュー。その後もミュンヘン・シンフォニカ、フランクフルト放送響、ベルリン響、チェコ・フィルの定期公演などに出演。日本でも主要オーケストラとの共演、リサイタル、室内楽、放送とあらゆる分野で活動。

録音はシューマン、シューベルトの全曲シリーズをはじめ多数、いずれも高い評価を得ている。最新盤「シューベルトピアノ作品集6」(フォンテック)が2015年度レコード・アカデミー賞(器楽部門)、第70回文化庁芸術祭賞を受賞。1993年日本ショパン協会賞、1994年横浜市文化賞奨励賞受賞。

現在、東京藝術大学教授、桐朋学園大学特任教授。

長久保 明美 (ながくぼ・あけみ) 語り

大学時代に朗読を学ぶ。シェイクスピア・カンパニーにて「新リア王」までの全作品に参加・出演。朗読みやびの会会員。ボランティアとして、仙台朗読奉仕の会、宮城朗読奉仕会に所属。朗読会企画・運営・朗読などに携わり、自主企画として、年1回お盆の時期に、茨木のり子作「りゅうりんれんの物語」を上演している。

ゾンタクラブの活動について

「ゾンタ」という言葉の意味は、ネイティブ・アメリカンのスー族の言葉で「正直・信頼」を意味します。1919年(大正8年)、女性にまだ参政権のなかった時代、アメリカのニューヨーク州バッファローで、女性の地位向上のために女性達が立ち上がり国際ゾンタが創設されました。国際ゾンタとは、事業経営者、管理職や専門職の女性達が、女性の平等の権利、政治的な均等、教育と健康の享受、女性と子どもに対する暴力の根絶などのために活動する国際的な奉仕団体です。

現在、世界67の国と地域に1,200のクラブ、30,000人の会員が活動しています。日本では全国各地に50クラブがあり、約1,000人の会員がいます。仙台Iゾンタクラブは、1966年5月に日本で4番目のクラブとして誕生し、2016年5月に創立50周年を迎えました。ゾンタクラブの会員は世界的な友好を通して理解・親善・平和の促進のために共に助け合い、国際ゾンタが提唱するプロジェクトを支援するため活動しています。また国内ではそれぞれの地域のニーズに応じて奉仕活動を行っています。

仙台Iゾンタクラブでは地域社会への奉仕として、東北大学大学院女子学生が国際学会で研究発表を行う際の「海外渡航費用支援」と、仙台市にある3つの児童養護施設の女子高校生が卒業後自立する為の「女子高校性自立支援」と、震災から立ち上がり自立するための事業を立ち上げた女性達への「女性自立支援」の事業を現在、継続実施しています。

この度、創立50周年を記念し、世界を舞台にヴィオラの第一人者として活躍する今井信子さんをお迎えし、チャリティコンサートを企画しました。コンサートの収益金は、仙台Iゾンタクラブの奉仕事業のための支援金として活用させていただきます。どうぞ、皆様におかれましては、コンサートをお楽しみいただくとともに、ゾンタクラブの趣旨をご理解いただき、ご支援を賜りますよう謹んでお願いを申し上げます。